

平成20年度東京都立園芸高等学校定時制課程学校経営報告

評価基準 A:目標レベル以上に達成できた B:目標レベルは達成できた  
C:目標レベルを少し下回った D:目標レベルを大幅に下回った

大項目	中項目	小項目	数値目標		20年度の具体的成果	評価
			当初設定	達成数値		
1 教育活動の目標と方策	(1) 学校への愛着や自分に誇りをもてる指導を推進する	①校外での奉仕的な体験活動や日比谷公園ガーデニングショウなどの専門的な技術を発揮する活動等を通して自己有用感を体得させ、合わせて愛校心を高める指導を行う			授業で栽培した野菜・草花を活用し、近隣の福祉施設や都庁花壇等に植栽し、生徒の自己有用感を体得させた。	A
		②造園技術検定など専門的な知識技術を活用できる資格の取得を推進する			造園技術検定3級に5名合格	B
		③部活動等において対外試合等に積極的に参加し、活動の充実を図る			運動部の対外試合は少なかった。専門部の活動は継続的に実施した。	C
		④生徒主体の創立百周年記念行事を契機として、学校へのアイデンティティを涵養する			百年の庭施工をはじめ、式典での発表など生徒の主体的な活動が行えた。	A
	(2) 学業両面からの生徒指導を充実させる	①校内への標語の掲示やHR・集会等での指導を徹底させる。また、教員の共通理解と生徒理解を深めて生徒指導に当たるとともに率先して生徒に声をかける			式での身だしなみ等の生活指導の徹底を図った。会議での生徒報告等を通じ職員間で生徒理解を図った。	A
		②生徒の学習意欲を高める教材等の研究・工夫を行い、学習への姿勢を高揚させる			視聴覚教材の導入などにより生徒の学習意欲を高めた。	B
		③ホームルーム活動を活性化して学校適応指導を強化し、学習及び生活指導両面で中途退学や現学年留置者を減少させる			個別面接を活用し、学習・生活の両面で指導を行い、進路について考えさせ、目標を持たせた。	B
		④調べ学習の支援や読書活動を推進するため、図書館の積極的な活用を図る			課題研究の授業に活用した。	A
	(3) 進路指導の充実を図り、生徒の自己実現を支援する	①学校全体の進路指導計画を充実させ、それぞれの学年に応じたキャリア教育を充実させる			各学年のLHRを活用し個別の進路指導を行った。	A
		②生徒の進路希望に応じた企業の開拓や指定校の拡大等を行い、全ての卒業予定者の進路を確定させる			卒業予定者の進路を十分に確定させることができなかった。進路先開拓を拡大することが課題である。	D
	(4) 教員の専門的な力量を高めるための研修を充実し、魅力ある授業を創造する	①生徒の授業評価に基づく校内研修をはじめとして教科内容に関する専門性高める研修を行う			生徒の授業評価を活用し教科の研修を深めた。	B
		②生徒の多様な教育ニーズに応じることができるよう、柔軟な発想で、学習内容・方法等の改善・工夫を行い、わかる授業、魅力的な授業を展開する			プロジェクト学習、実験・観察を取り入れる等の改善・工夫を行い、分かる授業の展開に努めた。	B
	(5) 地域や産業界、NPOなどと連携した教育活動を積極的に展開する	①園芸に関する専門性を生かして、地域の福祉施設等と連携した教育活動を推進する			福祉・病院関連施設などの植栽を行った。	B
		②地域の小・中学校や世田谷区と連携して、奉仕活動等を行う			地域のフリーマーケットにおいて花卉の提供を行った。	B
	2 重点目標と方策【学校運営】	(1) 奉仕活動の推進	園芸科の特性を生かして、校内の美化や植栽、校門の装飾等の活動を推進するとともに、近隣の福祉施設での奉仕活動を複数回実施する			近隣の福祉施設での植栽や校内花壇の植栽を精力的に行った。
(2) 学校の教育力の向上		教員の専門的な技術を高める講習会や教育相談等に関する研修会に積極的に参加するなど、生徒指導、学習指導両面で教員の指導力を向上させる			特別支援教育研修・食育推進者養成研修・選択課題研修や都農研研修等に積極的に参加した。	B
(3) 学校PR活動の強化		①中学校生徒に向けて、通年で授業公開を実施するとともに、学校案内パンフレットの作成及びホームページによる情報発信などを行い、入学志願者の増加を目指す			学校案内パンフレットの作成及びホームページによる情報発信や教員の中学校訪問を実施し、募集対策を推進した。	A
		②日比谷公園ガーデニングショーへの出展と上位入賞、世界ラン展や世界バラ博、明治神宮菊花展などに積極的に参加し、教育実績を都民に示す			世界ラン展や世界バラ博、明治神宮菊花展などに積極的に参加し、教育実績を示すことができた。	A

大項目	中項目	小項目	数値目標		20年度の具体的成果	評価
			当初設定	達成数値		
2 重点目標と方策【各分掌】	(4) 園芸技術専修生制度の充実	社会人や団塊の世代等の学習需要に対応して、園芸技術専修生制度を弾力的に運用し、都民の生涯学習のニーズに応じられる教育課程を編成する			園芸技術専修生の興味・関心を喚起できる教材の開発を行った。	B
	(5) 予算の効率的編成と執行の円滑化	①早めの物品請求、計画的な申請など、学校経営支援センターの業務遂行システムに適應できる予算執行を行う			早めの物品請求に努めた。	B
		②費用対効果に配慮した予算執行を行うとともに、実績に応じた予算編成を行う			費用対効果に配慮した予算編成・執行を行った。	B
	(1) 教務部	①生徒による授業評価を7月と12月の2回行い、これに基づく校内研修会で授業改善策を検討し、生徒の学習意欲や満足度を高める授業を昨年度以上に展開する	2回	2回	生徒による授業評価を活かし、生徒の学習意欲や満足度を高める授業を今後も展開していく。	B
		②園芸技術専修生の修業年限の弾力化に対応できるよう、専門科目の週時程への配当や履修の在り方等を改善する			園芸技術専修生の修業年限の弾力化に対応できるよう履修の在り方等を改善した。	B
③資格取得に伴う単位認定に関する規定を整備する				資格取得に伴う単位認定に関する規定を検討した。	B	
(2) 生活指導部	①生徒の部活動への参加意欲を高め、加入率を70%以上にする	70%	50%	継続して活動していくことが課題である。	C	
	②学校行事への生徒参加率を9割以上とする	9割	7割	学校行事を工夫し生徒参加率を高めていくことが課題である。	C	
	③学期に2回以上、校外巡視、授業内外出禁止、校内巡視等の指導を全教員で行う	学期に2回以上		組織的に実施することができなかった。	D	
	④校歌の指導を始業式をはじめとする学校行事の場で行う			実施することができた。	B	
(3) 進路指導部	①進路学習、進路相談及び進路調査を十分に行い、生徒の進路に対する意識を高める			進路相談週間等を活用し、個別の進路指導を推進した。	B	
	②就職希望者に対する個別指導を充実させ、内定率100%を目指す	内定率100%	内定率70%	就労に対する意識の向上が課題である。	C	
	③進学希望者への指導を充実させ、4年制大学等への道を拓く			4年制大学に2名合格した。	A	
(4) 農場部	①農場施設・設備の安全管理に十分配慮し、年間を通じて学習環境を常に整え、教員、生徒とも学校事故を撲滅する			農場施設・設備の安全管理に十分配慮し、学校事故を防いだ。	B	
	②3級造園技能士の検定合格率100%を目指し、放課後等の受検指導に力を注ぐ	合格率100%	合格率60%	受検指導に力を注いだが目標レベルに達しなかった。	C	
	③近隣福祉施設等への草花植栽や都庁花壇等、学校の特色を生かした奉仕活動を年間4回以上行う	年間4回	年間10回	近隣の福祉施設や都庁花壇での植栽や校内花壇の植栽を実施できた。	A	
	④学校の教育財産の整備と百周年記念事業を全日制と連携して行う			百年の庭施工をはじめ、式典での発表など生徒の主体的な活動が行えた。	A	
(5) 経営企画室	○学校改革計画を具体化させるため、基礎データの収集や提言など、学校経営改善のための企画や施策化を行う			学校改革計画を具体化させるため、今後さらに基礎データの収集や提言などを行っていく。	B	
	○効率のかつ計画的な予算執行事務を行うとともに、課題解決型の自律経営予算を編成する			計画的に予算執行を行えた。	B	
	○校舎改築工事等を適切に監理し、生徒・教職員の安全確保を図る			生徒・教職員の安全確保は図れた。	B	
	○学年会計や給食会計等の私費会計の適正な執行を行う。また、教員の連携・協力のもとに、授業料納入や学事等の事務執行を迅速に行う			授業料納入や学事等の事務執行を迅速に行うことが課題である。	C	